

「子どもたち応援サイト」の開設

中来田敦美（京都大学大学院教育学研究科・修士課程）

<概要>

在宅学習に困る子どもたちや保護者の方々、子どもたちを指導する先生方のために、E.FORUM のウェブサイトを活用して、既存のコンテンツや、各地において学校の先生や教育委員会の方々が取組みまれてきた内容を共有する「子どもたち応援サイト」(https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/for_children/)を開設しました。開設にあたり、有志の学生が、研究者の方々や学校の先生方にご相談に乗っていただきながら、コンテンツの選定・整理およびサイトへの反映を行いました。

本活動の成果は、インターネット上に存在する有益なコンテンツを、多くの方々が利用しやすくなるプラットフォームを整備したことです。この度、多くの方々からご協力いただき、先生方や保護者の方々、子どもたちに対して、「分かりやすさ」と「楽しさ・面白さ」を両立した情報を発信することができました。

残された課題として、いくつかのページで、視認性が低下していることがあります。今後、こうした点の改善に力を入れていきます。

1. はじめに

2020 年には、新型コロナウイルスが全世界で猛威を振りました。同年 3 月には、全国の学校において臨時休業が実施されました。この措置により、子どもたちは学校で学べない状況に置かれることとなりました。

在宅学習に困る子どもたちや保護者の方々、子どもたちを指導する先生方のために、E.FORUM のネットワークを活用して、既存のコンテンツや、各地において学校の先生や教育委員会の方々が取組みられてきた内容を共有するサイトを開設することが発案されました。

西岡加名恵教授の呼びかけのもとで集まった、教育学研究科および教育学部の学生 23 人が作業にあたり、「子どもたち応援サイト」(https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/for_children/)を開設しました。

2. 活動内容

本活動においては、下記の 3 点に取り組みました。

(1) コンテンツの選定

サイトに掲載するコンテンツは、「子どもたちが楽しく効果的に学べる」「無料公開されている(視聴期間が限定されていない)」「特定の教科書を持っていなくても学べる」といった点を優先条件として、動画や音声のコンテンツを選定しました。これまでに本サイトでご紹介したサイトは、資料1の通りです。

資料 1. 「子どもたち応援サイト」でご紹介したサイト (五十音順)

- ・宇都宮大学共同教育学部附属小学校
- ・NHK for School、NHK 高校講座、NHK ティーチャーズライブラリー
- ・関西大学 近藤誠司准教授「教育支援動画」
- ・教育芸術社
- ・京都教育大学 黒田恭史教授「黒田先生と一緒に学ぼう！ 15 分でわかる小学校算数授業動画」(字幕版制作:京都府立豊学校 種村篤教諭)
- ・京都教育大学公式 You Tube チャンネル
- ・京都大学
- ・埼玉大学教育学部被服学研究室 川端博子教授「基礎縫い」
- ・新興出版社 啓林館
- ・東京学芸大学「『勉強』して学ぼう！」
- ・特別支援教育デザイン研究会 「特別支援教育のための教材」
- ・長野県教育委員会「『いっしょに学ぼう』家庭学習サポート動画」
- ・日本文教出版「おうちでチャレンジ！ 図工の時間」
- ・東村山市公式動画チャンネル (YouTube)

(2021 年 3 月 4 日時点)

(2) コンテンツの分類およびサイトへの反映

選定したコンテンツは、子どもたちでも探しやすいように、小学校から高校までの各学年について、教科・テーマごとに整理しました。テーマは、学習指導要領を参考にしながら、学生たちで話し合って決定しました。加えて、学校の先生方や、研究者の方々からご助言を頂きました(末尾の謝辞を参照)。

テーマを決定する際には、「子どもたちが一目見て内容を想像できること(どの教科書を使っている子どもにとっても分かりやすいこと)」「子どもたちに興味をもってもらいやすいものであること」の2点を心がけました。また、学習指導要領と対応させたことにより、先生方が教材研究を行われる際にも参考にさせていただきやすいサイトになったと考えています。

さらに、サイトで紹介している京都教育大学の黒田恭史先生作成の小学校算数のコンテンツについては、字幕版および多言語版も作成されています(字幕版は、京都府立豊学校の種村篤先生のご協力によるものです)。これらは、聴覚に障害のある子どもたちや、外国にルーツをもつ子どもたちにとって大きな意義を持つものです。

分類を終えた後、学生たちでサイトへの反映を行いました。実際のページは資料2の通りです。各ページに、分類を担当した学生からのコメントも掲載しました。さらに、小学校理科については、作新学院大学の井口桂一先生が「学び方ガイド」をご作成くださいました。

(3) 広報活動

サイトについて、広く子どもたちや保護者の方々に知ってもらうために、大学の広報課を経由して、2020 年 5 月 11 日にプレスリリースを行いました。サイトに関して、毎日新聞、中日新聞、読売新聞、日本教育新聞が取り上げてくださいました。また、文部科学省による学習支援コンテンツポータルサイト「子どもの学び応援サイト」

で、サイトが紹介されました (https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00657.html)。

プレスリリースに併せて、Twitter、Facebook といった SNS を活用した発信も行いました。SNS を活用したことで、より幅広い方々に、サイトについて知っていただくことができました。

広報活動にあたり、サイトの趣旨を説明する資料として、リーフレットを作成しました(別紙参照)。リーフレットは、サイトのトップページにも掲載しました。

資料 2. 「子どもたち応援サイト」のページ (小学校 1～2 年 生活 (一部抜粋))

小学校1～2年 せいかつ

- [「すたあと」 \(NHK for School\)](#) → (NHK・す)
しょうがっこうに ゆうがくした しん1ねんせいのみんなは、どんなきもちかな?『たのしみで ワクワク? それとも、'きんちようして ドキドキ?』どっちのきもちも あるかもしれないね。すたあとしょうがっこうの みんなも、おなじ、たのしみだけど、ちよっぴり ふあん……。でも、『すたあせんせい』といっしょに、うたったり、からだをうごかしたり、かぎや こどぼの ゲームをしたり すれば、こころが 'ウキウキ' してくるよ。さあ、きみも、いろいろなかつどうに ちょうせんしてみよう。そうしたら、きつと あかろくけんまで ニコニコスが の りっぱな 1ねんせい。(中來田敦美、教育学研究科修士2回生、2020年5月6日)
- [「おぼけの学校 \(がっこう\) たんけんだん」 \(NHK for School\)](#) → (NHK・お)
このばんくみには、たくさんの「おぼけ」が どうじょうします。でも、わるさをする おぼけや、こわ〜いおぼけは いません。でてくるのは、かわいい こどもの おぼけ。『にんげんのがっこうって、どんなことをするのかなあ』。『がっこうのなかを たんけんしたり、しよくぶつをそだてたりして、たのしそうだね』。おぼけのこどもたちが はなしています。そんな こどもたちのために、ホーレイせんせいは、ふしぎなまほうで こどもたちを にんげんのすがたに してあげました。『にんげんのこどもと、たくさんのものを みたり きいたり さわったり、に おいをかいだり しておいで』と せんせいは いいました。なんだか おもしろそうですね。きみも、おぼけのこどもたちと いっしょに、いろいろなこと に ちょうせんしてみよう! (中來田敦美、教育学研究科修士2回生、2020年5月6日)
- [「【必修課題\(ひっしゅうかだい\)】5月8日～5月15日/5月15日～5月22日/5月22日～5月29日」 \(宇都宮大学共同教育学部附属小学校\)](#) → (宇都宮大附小)
- [「いっしょに学 \(まな\) ぼう」 家庭学習 \(かていがくしゅう\) サポート動画 \(どうが\) 「小学校 \(しょうがっこう\) 1～3年生用 \(ねんせいよう\)」 \(長野県教育委員会\)](#) → (長野県教委)

しょうがっこう1ねん	小学校2年
まなびかたガイド (じゅんぴちゅう)	学びかたガイド (じゅんぴちゅう)
わたしたちがせいかつするばしょ① がっこう <ul style="list-style-type: none"> ● 「すたあとのうたではじめよう」 (NHK・す) ● 「じこしょうかいげえむ」 (NHK・す) ● 「みきひだりであそぼう」 (NHK・す) ● 「がっこうのいちにちをうたおう」 (NHK・す) ● 「わくわく学校 (がっこう) たんけん」 (NHK・お) ● 「学校 (がっこう) ってたのしいよ!」 (NHK・お) ● 「がっこうせいかつのれんしゅうをしよう」 (宇都宮大附小) ● 「がっこうだいすき①」 (宇都宮大附小) ● 「がっこうだいすき②」 (宇都宮大附小) 	わたしたちがせいかつするばしょ① 学校 <ul style="list-style-type: none"> ● 「わくわく学校 (がっこう) たんけん」 (NHK・お) ● 「学校 (がっこう) ってたのしいよ!」 (NHK・お) ● 「ようこそ1年生①」 (宇都宮大附小) ● 「ようこそ1年生②」 (宇都宮大附小)
わたしたちがせいかつするばしょ② いえ <ul style="list-style-type: none"> ● 「かぞくにっこり大 (だい) さくせん」 (NHK・お) ● 「おてつだいをしよう～おとあてくいず～」 (宇都宮大附小) 	わたしたちがせいかつするばしょ② いえ <ul style="list-style-type: none"> ● 「かぞくにっこり大 (だい) さくせん」 (NHK・お) ● 「おてつだいをしよう～おとあてくいず～」 (宇都宮大附小)
わたしたちがせいかつするばしょ③ ちいき (しく・まち・むら) <ul style="list-style-type: none"> ● 「まちのすてきを景 (み) つけよう」 (NHK・お) 	わたしたちがせいかつするばしょ③ ちいき (しく・町・村) <ul style="list-style-type: none"> ● 「まちのすてきを景 (み) つけよう」 (NHK・お)

(2021年3月4日時点)

3. 成果と課題

本活動の成果は、インターネット上に存在する有益なコンテンツについて、多くの方々が利用しやすくなるプラットフォームを整備したことです。サイトについて、「あたたかい心のもったメッセージが、画面から伝わってくる」「中学生だと、こっそり小学校の復習もできる」「今ほとにかく、まとまった情報が欲しい。生徒への視聴紹介だけでなく、教員が作成する際にも大変参考になる」「我が子と一緒に見たい」「オンライン学習をまとめたものは色々あったが、学年、教科ごとにこれだけまとまっているものは無かった。ぜひ多くの人に知ってもらいたい」など、たくさんのメッセージを頂きました。

突然の事態でお困りの先生方や保護者の方々、子どもたちに対して、「分かりやすさ」と「楽しさ・面白さ」を両立しながら情報を発信することは、サイトを開設するうえで、特に重視していたことです。この度、多くの方々からご協力いただき、それを達成することができました。このサイトを、学習活動や教材研究に役立てていただければ大変嬉しく思います。

なお、残された課題として、いくつかのページで、視認性が低下していることがあります。サイトへの掲載について、多くの方からご賛同いただいた結果、ご紹介するリンクの数が増加しました。これに伴い、どのコンテンツを視聴すればよいか、一目では分かりづらい状態となっているページがあります。今後、こうした点の改善に力を入れて、より多くの方にとって利用しやすいサイトにしていきたいと考えています。

「子どもたち応援サイト」の作成には、下記の学生が参画しました(所属は 2020 年度のもの)。

若松大輔、中来田敦美、岡村亮佑、小山田遥(以上、京都大学大学院教育学研究科・大学院生)、佐藤来唯、長谷川真也、山田章浩、桑川薫樹、中富優樹、永富優希、平松巧、岩田泰征、奥原理映子、香川楓子、川崎悠貴、小林恭子、笹田照央、永井萌花、永橋風香、西田帆花、水野夏、村山新、山崎貴仁(以上、京都大学教育学部・学部生)

「子どもたち応援サイト」の開設にあたり、次の方々にご助言を頂きました(五十音順)。厚く御礼申し上げます。

井口桂一先生、榎本龍也先生、大西洋先生、岡邊健先生、恩田徹先生、岸田蘭子先生、北原琢也先生、久富望先生、黒田恭史先生、小山英恵先生、田中容子先生、徳島祐彌先生、森本和寿先生

(2021 年 3 月 17 日入稿)